
手術部位感染（SSI）部門

仕様確認書

【 公開情報（半期報） 】

2026 年以降版

改版履歷

[illegible]

目次

1. データフォーマット	8
2. 共通仕様	9
2.1. 仕様書内の表現規則	9
2.1.1. 項目	9
2.1.2. 結果	9
2.2. 共通条件	10
2.2.1. 半期報作成の対象医療機関	10
2.2.2. 対象期間	10
2.2.3. 医療機関	10
2.2.4. 集計対象医療機関	10
2.2.5. 各医療機関	10
2.2.6. 手術手技	10
2.2.7. 手術手技分類	10
2.2.8. 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技	12
2.2.9. 数値の表記について	12
2.2.10. データ集計日	12
2.2.11. 公開情報掲載日	12
2.2.12. 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技	12
2.2.13. 検体	12
2.3. 提出データ構造	14
2.3.1. 重複データ	14
3. 共通計算式	15
3.1. 共通計算式一覧	15
3.1.1. SSI 件数	15
3.1.2. 手術件数	15
3.1.3. SSI 発生率	15
3.1.4. 対象分離菌数	15
3.1.5. リスクインデックス	15
3.1.6. カットオフポイント	17
3.1.7. 各パーセンタイル	18
3.1.8. 各性別	18
3.1.9. 内視鏡の有無	18
3.1.10. 原因菌ごとの対象分離菌数	18
3.1.11. 特定の菌グループの対象分離菌数	23
3.1.12. 緊急と待機	23
3.1.13. 埋入物の有無	23

3. 1. 14. 人工肛門造設の有無	23
3. 1. 15. 各感染部位	24
3. 1. 16. 人工肛門造設カットオフポイント	25
3. 1. 17. 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス	26
4. 帳票別仕様書	28
4. 1. 公開表 1.	28
[帳票イメージ]	28
[帳票書式]	30
[算出方法について]	31
4. 1. 1. 対象期間	31
4. 1. 2. 全手術手技合計 集計対象医療機関数	31
4. 1. 3. 全手術手技合計 手術件数合計	31
4. 1. 4. 全手術手技合計 各医療機関の手術件数の分布	31
4. 1. 5. 全手術手技合計 年齢 平均値	31
4. 1. 6. 全手術手技合計 年齢 中央値	31
4. 1. 7. 全手術手技合計 性別ごとの手術件数	31
4. 1. 8. 全手術手技合計 SSI 件数合計	31
4. 1. 9. 全手術手技合計 全体の SSI 発生率	31
4. 1. 10. 手術手技コード	32
4. 1. 11. 集計対象医療機関数	32
4. 1. 12. 手術件数合計	32
4. 1. 13. 各医療機関の手術件数の分布	32
4. 1. 14. 年齢 平均値	32
4. 1. 15. 年齢 中央値	32
4. 1. 16. 性別ごとの手術件数	32
4. 1. 17. 内視鏡有無ごとの手術件数	32
4. 1. 18. 緊急、待機の手術件数	33
4. 1. 19. 埋入物の有無ごとの手術件数	33
4. 1. 20. SSI 件数合計	33
4. 1. 21. 全体の SSI 発生率	33
4. 1. 22. 各医療機関の SSI 発生率の分布	33
4. 1. 23. 性別 SSI 件数	33
4. 1. 24. 内視鏡有無ごとの SSI 件数	33
4. 1. 25. 緊急と待機の SSI 件数	33
4. 1. 26. 埋入物の有無ごとの SSI 件数	34
4. 1. 27. 感染部位別 SSI 件数	34
4. 1. 28. データ集計日	34
4. 1. 29. 公開情報掲載日	34
4. 2. 公開表 2.	35
[帳票イメージ]	35
[帳票書式]	37
[算出方法について]	38

4.2.1. 対象期間	38
4.2.2. 手術手技コード	38
4.2.3. 合計 手術件数合計	38
4.2.4. 合計 RI-0 手術件数	38
4.2.5. 合計 RI-0 SSI 件数	38
4.2.6. 合計 RI-0 SSI 発生率	38
4.2.7. 合計 RI-1 手術件数	38
4.2.8. 合計 RI-1 SSI 件数	38
4.2.9. 合計 RI-1 SSI 発生率	39
4.2.10. 合計 RI-2 手術件数	39
4.2.11. 合計 RI-2 SSI 件数	39
4.2.12. 合計 RI-2 SSI 発生率	39
4.2.13. 合計 RI-3 手術件数	39
4.2.14. 合計 RI-3 SSI 件数	39
4.2.15. 合計 RI-3 SSI 発生率	39
4.2.16. 内視鏡無 手術件数合計	40
4.2.17. 内視鏡無 RI-0 手術件数	40
4.2.18. 内視鏡無 RI-0 SSI 件数	40
4.2.19. 内視鏡無 RI-0 SSI 発生率	40
4.2.20. 内視鏡無 RI-1 手術件数	40
4.2.21. 内視鏡無 RI-1 SSI 件数	40
4.2.22. 内視鏡無 RI-1 SSI 発生率	40
4.2.23. 内視鏡無 RI-2 手術件数	41
4.2.24. 内視鏡無 RI-2 SSI 件数	41
4.2.25. 内視鏡無 RI-2 SSI 発生率	41
4.2.26. 内視鏡無 RI-3 手術件数	41
4.2.27. 内視鏡無 RI-3 SSI 件数	41
4.2.28. 内視鏡無 RI-3 SSI 発生率	41
4.2.29. 内視鏡有 手術件数合計	42
4.2.30. 内視鏡有 RI-0 手術件数	42
4.2.31. 内視鏡有 RI-0 SSI 件数	42
4.2.32. 内視鏡有 RI-0 SSI 発生率	42
4.2.33. 内視鏡有 RI-1 手術件数	42
4.2.34. 内視鏡有 RI-1 SSI 件数	42
4.2.35. 内視鏡有 RI-1 SSI 発生率	43
4.2.36. 内視鏡有 RI-2 手術件数	43
4.2.37. 内視鏡有 RI-2 SSI 件数	43
4.2.38. 内視鏡有 RI-2 SSI 発生率	43
4.2.39. 内視鏡有 RI-3 手術件数	43
4.2.40. 内視鏡有 RI-3 SSI 件数	43
4.2.41. 内視鏡有 RI-3 SSI 発生率	44
4.2.42. 人工肛門造設 合計 手術件数合計	44

4.2.43.	人工肛門造設 合計 RI-0 手術件数	44
4.2.44.	人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 件数	44
4.2.45.	人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 発生率	44
4.2.46.	人工肛門造設 合計 RI-1 手術件数	44
4.2.47.	人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 件数	44
4.2.48.	人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 発生率	45
4.2.49.	人工肛門造設 合計 RI-2 手術件数	45
4.2.50.	人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 件数	45
4.2.51.	人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 発生率	45
4.2.52.	人工肛門造設 合計 RI-3 手術件数	45
4.2.53.	人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 件数	45
4.2.54.	人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 発生率	45
4.2.55.	人工肛門造設無 手術件数合計	46
4.2.56.	人工肛門造設無 RI-0 手術件数	46
4.2.57.	人工肛門造設無 RI-0 SSI 件数	46
4.2.58.	人工肛門造設無 RI-0 SSI 発生率	46
4.2.59.	人工肛門造設無 RI-1 手術件数	46
4.2.60.	人工肛門造設無 RI-1 SSI 件数	46
4.2.61.	人工肛門造設無 RI-1 SSI 発生率	46
4.2.62.	人工肛門造設無 RI-2 手術件数	47
4.2.63.	人工肛門造設無 RI-2 SSI 件数	47
4.2.64.	人工肛門造設無 RI-2 SSI 発生率	47
4.2.65.	人工肛門造設無 RI-3 手術件数	47
4.2.66.	人工肛門造設無 RI-3 SSI 件数	47
4.2.67.	人工肛門造設無 RI-3 SSI 発生率	47
4.2.68.	人工肛門造設有 手術件数合計	48
4.2.69.	人工肛門造設有 RI-0 手術件数	48
4.2.70.	人工肛門造設有 RI-0 SSI 件数	48
4.2.71.	人工肛門造設有 RI-0 SSI 発生率	48
4.2.72.	人工肛門造設有 RI-1 手術件数	48
4.2.73.	人工肛門造設有 RI-1 SSI 件数	48
4.2.74.	人工肛門造設有 RI-1 SSI 発生率	49
4.2.75.	人工肛門造設有 RI-2 手術件数	49
4.2.76.	人工肛門造設有 RI-2 SSI 件数	49
4.2.77.	人工肛門造設有 RI-2 SSI 発生率	49
4.2.78.	人工肛門造設有 RI-3 手術件数	49
4.2.79.	人工肛門造設有 RI-3 SSI 件数	49
4.2.80.	人工肛門造設有 RI-3 SSI 発生率	50
4.2.81.	データ集計日	50
4.2.82.	公開情報掲載日	50
4.3.	公開表 3	51
	[帳票イメージ]	51

[帳票書式]	53
[算出方法について]	53
4.3.1. 対象期間	54
4.3.2. 全手術手技合計 SSI 件数合計	54
4.3.3. 全手術手技合計 培養検査施行件数合計	54
4.3.4. 全手術手技合計 総分離菌数	54
4.3.5. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 菌名	54
4.3.6. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 分離菌数	54
4.3.7. 検体コード	55
4.3.8. 各検体別の SSI 件数合計	55
4.3.9. 各検体別の培養検査施行件数合計	55
4.3.10. 各検体別の総分離菌数	55
4.3.11. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 菌名	55
4.3.12. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 分離菌数	56
4.3.13. 手術手技コード	56
4.3.14. SSI 件数合計	56
4.3.15. 培養検査施行件数合計	56
4.3.16. 総分離菌数	56
4.3.17. 原因菌上位 5 菌種 菌名	57
4.3.18. 原因菌上位 5 菌種 分離菌数	57
4.3.19. データ集計日	57
4.3.20. 公開情報掲載日	58
4.4. 資料 手術手技コード、手術時間カットオフポイント一覧	59
[帳票イメージ]	59
[帳票書式]	60
[算出方法について]	61
4.4.1. コード	61
4.4.2. 手術時間カットオフポイント（全体）	61
4.4.3. 手術時間カットオフポイント（内視鏡有）	61
4.4.4. 手術時間カットオフポイント（内視鏡無）	61
4.4.5. カットオフポイント算出に用いるデータの期間	61

1. データフォーマット

JANIS サイトに公開されている下記の SSI 部門データフォーマットを参照

https://janis.mhlw.go.jp/section/format/dataformat_ssi_ver2.8_20251201.xls

NO	必須	項目名	長さ (最大桁数)	内容
1	○	バージョン情報	4	V301
2	○	医療機関	5	医療機関コード(5 文字)
3	○	手術年月日	8	YYYYMMDD 《西暦年、月、日。2008 年 2 月 1 日は、20080201》
4	○	患者 ID	15	半角 15 桁まで。《半角英数字とハイフン“-”のみ使用可能。復号可能な暗号化を施してあること。》
5	○	年齢	3	手術日現在の年齢
6	○	性別	1	M = 男性、F = 女性
7	○	手術手技	10	手術手技コードのみ使用可
8	○	手術時間(分)	4	半角数字（自然数）
9	○	創分類	2	創分類コードを用いる。 半角英字。
10	○	ASA	4	ASA 分類コードを用いる。コード変更なし
11	○	緊急	1	0 = 待機／定時手術 1 = 緊急手術
12	○	埋入物	1	0 = なし 1 = あり
13	○	内視鏡	1	0 = 使用なし 1 = 使用あり
14	○	ロボット支援	1	0 = 使用なし 1 = 使用あり
15	(○)	人工肛門造設	1	0 = 造設なし 1 = 造設術あり COL0, SB, REC のときのみ必須
16	○	SSI	1	0 = なし 1 = あり
17	△	感染診断年月日	8	YYYYMMDD 《西暦年、月、日。2008 年 2 月 1 日は、20080201》
18	△	感染特定部位	5	感染部位コードのみ使用可
19	(△)	検体	5	検体コードのみ使用可 《培養検査未実施の場合は空白》
20	(△)	病原体 1	4	菌名コードのみ使用可 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
21	(△)	病原体 2	4	菌名コードのみ使用可 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
22	(△)	病原体 3	4	菌名コードのみ使用可 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
23	(△)	病原体 4	4	菌名コードのみ使用可 《培養検査未実施、または該当データがない場合は空白》
24		皮下膿瘍	1	1 = あり 2 = なし 0 = 不明
25		縫合不全	1	1 = あり 2 = なし 0 = 不明
26		遺残膿瘍	1	1 = あり 2 = なし 0 = 不明

必須「△」は、項目 No. 16【SSI】が[1] (SSI 発生) の場合のみ必須

「(○)」 「(△)」は該当データがあれば必須

2. 共通仕様

2.1. 仕様書内の表現規則

2.1.1. 項目

データフォーマットの項目名や計算項目を参照する場合は【】で囲って記載する（【】内の番号は、項番を表す）

例）【2. 医療機関】

2.1.2. 結果

データフォーマットなどの項目への設定値を表す場合は「」で囲む

例）【3. 手術年月日】が「20120201」であるもの

2.2. 共通条件

2.2.1. 半期報作成の対象医療機関

対象期間のデータを提出した医療機関を対象とする

2.2.2. 対象期間

対象期間は、1. データフォーマット【3. 手術年月日】を基準とし、上半期であれば 1 月から 6 月、下半期であれば 7 月から 12 月の範囲を対象期間とする。

例えば、2012 年上半期を対象期間とした場合、1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20120101」～「20120630」が設定されているデータを対象とする

2.2.3. 医療機関

医療機関は、1. データフォーマット【2. 医療機関】によって分別される

2.2.4. 集計対象医療機関

データを提出した全ての医療機関を指す

ただし、異常と判断されたデータを提出した医療機関は除外とする

2.2.5. 各医療機関

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象となっている医療機関で、個々のデータを算出する際に使用する単位。

2.2.6. 手術手技

手術手技は、1. データフォーマット【7. 手術手技】によって分別される

ただし、1. データフォーマット【7. 手術手技】の「BILI-L」「BILI-O」「BILI-PD」を合計した「BILI 合計」、「GAST-D」「GAST-O」「GAST-T」を合計した「GAST 合計」も一覧に表示される。

2.2.7. 手術手技分類

手術手技分類は以下の順で表示される。

手術手技分類	表示順番
消化器外科系手術	1
心臓・血管外科系手術	2
整形外科系手術	3
一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	4

手術手技コードの分類は以下の通り。

【7. 手術手技】	手術手技分類	表示順番
APPY	消化器外科系手術	1
BILI-L	消化器外科系手術	2
BILI-PD	消化器外科系手術	3
BILI-O	消化器外科系手術	4
CHOL	消化器外科系手術	5

【7. 手術手技】	手術手技分類	表示順番
COL0	消化器外科系手術	6
ESOP	消化器外科系手術	7
GAST-D	消化器外科系手術	8
GAST-T	消化器外科系手術	9
GAST-O	消化器外科系手術	10
HER	消化器外科系手術	11
LTP	消化器外科系手術	12
REC	消化器外科系手術	13
SB	消化器外科系手術	14
SPLE	消化器外科系手術	15
AAA	心臓・血管外科系手術	16
AAE	心臓・血管外科系手術	17
AVSD	心臓・血管外科系手術	18
CARD	心臓・血管外科系手術	19
CEA	心臓・血管外科系手術	20
CBGB	心臓・血管外科系手術	21
CBGC	心臓・血管外科系手術	22
HTP	心臓・血管外科系手術	23
PACE	心臓・血管外科系手術	24
PVBY	心臓・血管外科系手術	25
TAA	心臓・血管外科系手術	26
TAE	心臓・血管外科系手術	27
VARX	心臓・血管外科系手術	28
AMP	整形外科系手術	29
FUSN	整形外科系手術	30
FX	整形外科系手術	31
HPR0	整形外科系手術	32
KPR0	整形外科系手術	33
LAM	整形外科系手術	34
RFUSN	整形外科系手術	35
BRST	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	36
THOR	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	37
THYR	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	38
XLAP	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	39
CRAN	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	40
VSHN	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	41
CSEC	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	42
HYST	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	43
OVRY	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	44
VHYS	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	45

【7. 手術手技】	手術手技分類	表示順番
KTP	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	46
NEPH	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	47
PRST	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	48
NECK	一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術	49

2.2.8. 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技

1. データフォーマット【7. 手術手技】が以下の手術手技は内視鏡の使用有無別の算出を行う。
「APPY」、「CHOL」、「COLO」、「ESOP」、「GAST-D」、「GAST-T」、「GAST-O」、「HYST」、「NEPH」、「OVRY」、「PRST」、「REC」、「SPLE」、「THOR」、「VHYS」

2.2.9. 数値の表記について

百分率で値を表記する場合、小数第二位を四捨五入し小数第一位までを表示する
特に表記がある場合については、そちらを優先する

2.2.10. データ集計日

集計対象医療機関のデータが集計された日付

2.2.11. 公開情報掲載日

公開情報を掲載した日付

2.2.12. 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技

1. データフォーマット【7. 手術手技】が以下の手術手技は人工肛門造設の造設有無別の算出を行う。
「COLO」、「REC」、「SB」

2.2.13. 検体

検体コードは以下の通り。

表示名とは、【4.3 公開表 3】に表記する項目名

【18. 検体】	表示名	検体	説明
B	血液	血液	血液
BX	生検	生検（組織、臓器、骨を含む）	生検（組織、臓器、骨を含む）
CSF	脳脊髄液	脳脊髄液	脳脊髄液
DD	臓器/体腔	臓器/体腔からの排液	皮膚切開部、筋膜、筋層を除く部分ならどこでもよい。臓器/体腔から排液するために挿入され、そこが終端となっているドレーンなどの器具からの排液も含む。
ID	表層/深部切開創	表層あるいは深部切開創の排液	表層あるいは深部切開創の排液 皮膚・軟部組織・筋膜・筋層からの排液。筋膜・筋層に挿入されたドレーンの排液を含む。

【18. 検体】	表示名	検体	説明
NSD	手術部位以外の排液	手術部位以外の排液	手術部位以外の排液 皮膚・臓器・粘膜面・胎盤・褥創の潰瘍または外傷創からの分泌物・廃液・剥離物・液体。例えば、目、膣、尿道口、会陰、耳、上気道からの分泌物や排液、歯肉または皮膚の剥離物。
R	下気道（喀痰以外）	下気道からの分泌物、洗浄物、吸引物、液体（喀痰以外）	器具あるいは非手術的手技（例：胸腔穿指、胸部チューブ）によって排液された胸水を含む。
S	喀痰	喀痰	喀痰
ST	便もしくは直腸スワブ	便もしくは直腸粘膜擦過スワブ	便もしくは直腸粘膜擦過スワブ
U	尿	尿（清潔に採取されたもの）	清潔採取、恥骨上穿刺、膀胱鏡検査、あるいは尿路カテーテル吸引液
VC	静脈カテーテル先端	静脈カテーテルの先端	半定量的培養手技により陽性の場合に限る。
OTH	その他	その他の検体	その他の検体

2.3. 提出データ構造

2.3.1. 重複データ

1. データフォーマットのうち下記の項目（キー項目）がすべて一致するものは重複データとみなす
重複データがあった場合は、報告ファイル内で先にあったものを優先し、後の方を重複エラーとして取り込まない

- ・【2. 医療機関】
- ・【3. 手術年月日】
- ・【4. 患者 ID】
- ・【7. 手術手技】

ファイル内でレコードが重複しています。

報告ファイル内に、キー項目が重複する詳細情報が存在します。
ファイル内で一番初めに出現した有効な行を『有効』とし
以降出現したキー項目の重複する情報は、全て重複として破棄されます。

※キー項目(フォーマットVer.2.0以降)

項目2『医療機関』,項目3『手術年月日』,項目4『患者ID』,項目7『手術手技』

※キー項目(フォーマットVer.1.3以前)

分母データ:項目3『医療機関』,項目5『手術年月日』,項目6『患者ID』,項目9『手術手技』

分子データ:項目3『医療機関』,項目4『管理No』,項目5『患者ID』

3. 共通計算式

3.1. 共通計算式一覧

3.1.1. SSI 件数

〔 解説 〕 手術部位感染（SSI）が発生した手術件数

〔 算出方法 〕 1. データフォーマット【15. SSI】が「1」であるデータの件数

3.1.2. 手術件数

〔 解説 〕 手術を行った件数

〔 算出方法 〕 提出された全ての件数

3.1.3. SSI 発生率

〔 解説 〕 【3.1.1 SSI 件数】の【3.1.2 手術件数】に占める割合（％）

〔 算出方法 〕 【3.1.1 SSI 件数】÷【3.1.2 手術件数】× 100

3.1.4. 対象分離菌数

〔 解説 〕 培養検査を施行した検体から対象の病原体が分離された件数

〔 算出方法 〕 1. データフォーマット【19. 病原体 1】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

+1. データフォーマット【20. 病原体 2】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

+1. データフォーマット【21. 病原体 3】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

+1. データフォーマット【22. 病原体 4】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

3.1.5. リスクインデックス

〔 解説 〕 下記項目の危険度に対し点数を付け、それらの合計をリスクインデックス（RI）とする

- ・ ASA の身体状態分類
- ・ 創分類
- ・ 手術手技に対する手術時間

〔 算出方法 〕 下記点数 A～C の合計をリスクインデックスとする

点数 A : ASA の身体状態分類から点数を求める

1. データフォーマット【10. ASA】の値により下記のように分類する

【10. ASA】	説明	点数 A
ASA1	標準的な健康な患者	0
ASA2	軽い全身疾患の患者	

【10. ASA】	説明	点数 A
ASA3	重篤な全身症状があるが、活動不能でない患者	1
ASA4	日常生活を営めない、常に生命を脅かされている全身疾患の患者	
ASA5	手術の有無にかかわらず、24 時間生きることが予測できない瀕死の患者	
ASA6	脳死状態	

点数 B：創分類から点数を求める

1. データフォーマット【9. 創分類】の値により下記のように分類する

【9. 創分類】	創分類名	点数 B
C	清潔創（クラスⅠ）	0
CC	準清潔創（クラスⅡ）	
CO	汚染創（クラスⅢ）	1
D	化膿創（クラスⅣ）	

点数 C：手術手技に対する手術時間から点数を求める。

1. データフォーマット【7. 手術手技】ごとに算出した全体の【3. 1. 6 カットオフポイント】を参照し、1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】がこれを超過していた場合、点数 C を 1 点とする。また【2. 2. 8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】の場合は【3. 1. 9 内視鏡の有無】ごとにも算出し、それぞれの【3. 1. 6 カットオフポイント】を使用し点数を求める。

例 1) 2012 年上期報で、【7. 手術手技】が「AMP」で全体の【3. 1. 6 カットオフポイント】が「99」の場合、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

例 2) 2012 年下期報で、【7. 手術手技】が「AMP」で全体の【3. 1. 6 カットオフポイント】が「98」の場合、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 1

例 3) 【7. 手術手技】が「APPY」で内視鏡有のデータで算出する場合、内視鏡有の【3. 1. 6 カットオフポイント】が「110」のとき、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

点数 A～C の合計からリスクインデックスを求める

点数 A～C の合計によって「リスクインデックス」の値を決定する

例) 点数 A～C の合計が 3 点の場合、リスクインデックスは[3]

3.1.6. カットオフポイント

〔 解説 〕 集計対象医療機関が対象期間に報告した手術時間を元に各手術手技のカットオフポイントを算出する。75 パーセンタイル値の算出方法については別紙（箱髭図）参照。
手術件数が 100 件未満の場合、カットオフポイントが算出されない。

【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】は全体と内視鏡有、無ごとにカットオフポイントを算出する。また、内視鏡無または、内視鏡有の手術件数が 100 件に満たない場合でも、全体が 100 件以上であれば、内視鏡無、内視鏡有それぞれのカットオフポイントは算出される。

75 パーセンタイルが小数の場合は、小数第一位を繰り上げ整数にする。

〔 算出方法 〕 ・ 全体の場合

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

・ 内視鏡有の場合

【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【13. 内視鏡】が「1」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

・ 内視鏡無の場合

【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2.2.4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【13. 内視鏡】が「0」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

ただし対象期間と手術手技により「カットオフポイント算出に用いるデータ」の期間が異なる。

例 1) 2012 年 1-6 月半期報の場合、【2.2.4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20120101」～「20120630」に報告されたデータで算出する。

例 2) 2012 年 1-12 月年報の場合、【2.2.4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20120101」～「20121231」に報告されたデータで算出する。

各帳票ごとのカットオフポイント算出に用いるデータは以下の通り。

公開・還元情報	カットオフポイント算出に用いるデータ
2012 年 1-6 月半期報	2012 年 1-6 月データ
2012 年 7-12 月半期報	2012 年 1-12 月データ（ただし、暫定データを使用）
2012 年 1-12 月年報	2012 年 1-12 月データ（精度管理後のデータを使用）
2013 年 1-6 月半期報	
2013 年 7-12 月半期報	

3.1.7. 各パーセンタイル

〔 解説 〕 対象の項目の各パーセンタイルの値を算出する。

〔 算出方法 〕 算出するパーセンタイル値は以下の通り。

- ・ 10 パーセンタイル
- ・ 25 パーセンタイル
- ・ 50 パーセンタイル
- ・ 75 パーセンタイル
- ・ 90 パーセンタイル

算出方法については、別紙（箱髭図）参照。

3.1.8. 各性別

〔 解説 〕 性別は、1. データフォーマットの【6. 性別】の設定値によって分別される。

- 〔 算出方法 〕
- ・ 男
【6. 性別】が「M」
 - ・ 女
【6. 性別】が「F」

3.1.9. 内視鏡の有無

〔 解説 〕 内視鏡の有無は、1. データフォーマットの【13. 内視鏡】の設定値によって分別される。

- 〔 算出方法 〕
- ・ 内視鏡有
【13. 内視鏡】が「1」
 - ・ 内視鏡無
【13. 内視鏡】が「0」

3.1.10. 原因菌ごとの対象分離菌数

〔 解説 〕 対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数

〔 算出方法 〕 【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】を菌名コードごとに算出する。ただし、以下の菌はグループごとに算出する。

菌グループ	菌名コード	菌名
<i>Streptococcus</i> spp.	1100	<i>Streptococcus</i> spp.
	1101	α - <i>Streptococcus</i>
	1102	β - <i>Streptococcus</i>
	1103	γ - <i>Streptococcus</i>
	1117	C 群 β - <i>Streptococcus</i>
	1120	F 群 β - <i>Streptococcus</i>
	1123	G 群 β - <i>Streptococcus</i>
	1141	<i>Streptococcus mutans</i>
	1142	<i>Streptococcus sanguis</i>
	1143	<i>Streptococcus mitis</i>
	1144	<i>Streptococcus anginosus</i>
	1145	<i>Streptococcus intermedius</i>
	1146	<i>Streptococcus bovis</i>

菌グループ	菌名コード	菌名
	1147	<i>Streptococcus salivarius</i>
	1148	<i>Streptococcus equinus</i>
	1149	<i>Streptococcus uberis</i>
	1150	<i>Streptococcus constellatus</i> subsp. <i>constellatus</i>
	1151	<i>Streptococcus acidominimus</i>
<i>Enterococcus</i> spp.	1200	<i>Enterococcus</i> spp.
	1209	<i>Enterococcus avium</i>
	1210	<i>Enterococcus avium</i> (VRE)
	1213	<i>Enterococcus durans</i>
	1214	<i>Enterococcus gallinarum</i>
	1215	<i>Enterococcus casseliflavus</i>
	1216	<i>Enterococcus casseliflavus/gallinarum</i>
	1217	<i>Enterococcus hirae</i>
<i>Enterococcus faecalis</i>	1201	<i>Enterococcus faecalis</i>
	1202	<i>Enterococcus faecalis</i> (VRE)
<i>Enterococcus faecium</i>	1205	<i>Enterococcus faecium</i>
	1206	<i>Enterococcus faecium</i> (VRE)
<i>Staphylococcus aureus</i>	1301	<i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i>
	1303	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)
	1304	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)
	1305	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA) (β 非産生)
	1306	<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA) (β 産生)
<i>Staphylococcus</i> , coagulase negative (CNS)	1313	<i>Staphylococcus saprophyticus</i> subsp. <i>saprophyticus</i>
	1314	<i>Staphylococcus hominis</i> subsp. <i>hominis</i>
	1315	<i>Staphylococcus warneri</i>
	1316	<i>Staphylococcus lentus</i>
	1317	<i>Staphylococcus auricularis</i>
	1318	<i>Staphylococcus simulans</i>
	1319	<i>Staphylococcus cohnii</i> subsp. <i>cohnii</i>
	1320	<i>Staphylococcus xylosus</i>
	1321	<i>Staphylococcus sciuri</i> subsp. <i>sciuri</i>
	1322	<i>Staphylococcus intermedius</i>
	1323	<i>Staphylococcus hyicus</i>
	1324	<i>Staphylococcus haemolyticus</i>
	1325	<i>Staphylococcus capitis</i> subsp. <i>capitis</i>
<i>Escherichia coli</i>	2001	<i>Escherichia coli</i>
	2002	<i>Escherichia coli</i> , pathogenic
	2003	<i>Escherichia coli</i> , enterohemorrhagic (EHEC)
	2004	<i>Escherichia coli</i> , enteroinvasive (EIEC)
	2005	<i>Escherichia coli</i> , enteropathogenic (EPEC)

菌グループ	菌名コード	菌名
	2006	<i>Escherichia coli</i> , enterotoxin-producing (ETEC)
	2007	<i>Escherichia coli</i> , enteroaggregative (EAEC)
<i>Citrobacter</i> spp.	2050	<i>Citrobacter</i> spp.
	2051	<i>Citrobacter freundii</i>
	2052	<i>Citrobacter koseri</i>
	2053	<i>Citrobacter amalonaticus</i>
	2055	<i>Citrobacter braakii</i>
<i>Serratia</i> spp.	2100	<i>Serratia</i> spp.
	2101	<i>Serratia marcescens</i> subsp. <i>marcescens</i>
	2102	<i>Serratia liquefaciens</i>
	2103	<i>Serratia plymuthica</i>
	2104	<i>Serratia rubidaea</i>
	2105	<i>Serratia odorifera</i>
<i>Enterobacter</i> spp.	2150	<i>Enterobacter</i> spp.
	2152	<i>Enterobacter aerogenes</i>
	2153	<i>Enterobacter sakazakii</i>
	2154	<i>Enterobacter gergoviae</i>
	2155	<i>Enterobacter asburiae</i>
	2156	<i>Enterobacter cancerogeneus</i>
<i>Pantoea</i> spp.	2170	<i>Pantoea</i> spp.
	2171	<i>Pantoea agglomerans</i>
<i>Proteus</i> spp.	2200	<i>Proteus</i> spp.
	2201	<i>Proteus mirabilis</i>
	2202	<i>Proteus vulgaris</i>
	2203	<i>Proteus penneri</i>
<i>Morganella morganii</i>	2251	<i>Morganella morganii</i> subsp. <i>morganii</i>
<i>Providencia</i> spp.	2300	<i>Providencia</i> spp.
	2301	<i>Providencia rettgeri</i>
	2304	<i>Providencia alcalifaciens</i>
	2305	<i>Providencia stuartii</i>
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2351	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>pneumoniae</i>
	2353	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>ozaenae</i>
	2354	<i>Klebsiella pneumoniae</i> subsp. <i>rhinoscleromatis</i>
<i>Aeromonas</i> spp.	3050	<i>Aeromonas</i> spp.
	3051	<i>Aeromonas hydrophila</i> subsp. <i>hydrophila</i>
	3052	<i>Aeromonas sobria</i>
	3053	<i>Aeromonas caviae</i>
<i>Haemophilus influenzae</i>	3201	<i>Haemophilus influenzae</i>
	3202	<i>Haemophilus influenzae</i> (β 非産生)
	3203	<i>Haemophilus influenzae</i> (β 産生)

菌グループ	菌名コード	菌名
	3205	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype I
	3208	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype II
	3211	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype III
	3214	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype IV
	3217	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype V
	3220	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype VI - 1
	3223	<i>Haemophilus influenzae</i> biotype VI - 2
<i>Pseudomonas</i> spp.	4000	<i>Pseudomonas</i> spp.
	4011	<i>Pseudomonas putida</i>
	4012	<i>Pseudomonas fluorescens</i>
<i>Burkholderia</i> spp.	4050	<i>Burkholderia</i> spp.
	4051	<i>Burkholderia cepacia</i>
	4052	<i>Burkholderia mallei</i>
	4053	<i>Burkholderia pseudomallei</i>
<i>Alcaligenes</i> spp.	4100	<i>Alcaligenes</i> spp.
	4101	<i>Alcaligenes faecalis</i> subsp. <i>faecalis</i>
	4102	<i>Alcaligenes xylosoxidans</i> subsp. <i>xylosoxidans</i>
<i>Acinetobacter</i> spp.	4400	<i>Acinetobacter</i> spp.
	4401	<i>Acinetobacter calcoaceticus</i>
	4402	<i>Acinetobacter baumannii</i>
	4403	<i>Acinetobacter lwoffii</i>
Gram-positive anaerobic cocci	5000	<i>Peptostreptococcus</i> spp.
	5001	<i>Finnegoldia magna</i>
	5002	<i>Anaerococcus prevotii</i>
	5003	<i>Peptoniphilus asaccharolyticus</i>
	5004	<i>Peptostreptococcus anaerobius</i>
	5005	<i>Ruminococcus productus</i>
	5006	<i>Micromonas micros</i>
	5020	<i>Peptococcus</i> spp.
	5021	<i>Peptococcus niger</i>
	5030	<i>Anaerococcus</i> spp.
	5033	<i>Finnegoldia</i> spp.
	5036	<i>Parvimonas</i> spp.
	5039	<i>Peptoniphilus</i> spp.
	5042	<i>Ruminococcus</i> spp.
<i>Clostridium</i> spp.	5050	<i>Clostridium</i> spp.
	5051	<i>Clostridium difficile</i>
	5052	<i>Clostridium perfringens</i>
	5053	<i>Clostridium tetani</i>
	5054	<i>Clostridium botulinum</i>

菌グループ	菌名コード	菌名
	5055	<i>Clostridium septicum</i>
<i>Bacteroides</i> spp.	5500	<i>Bacteroides</i> spp.
<i>Bacteroides fragilis</i> group	5501	<i>Bacteroides fragilis</i>
	5503	<i>Bacteroides thetaiotaomicron</i>
	5504	<i>Bacteroides vulgatus</i>
	5505	<i>Bacteroides distasonis</i>
	5507	<i>Bacteroides caccae</i>
<i>Bacteroides</i> spp. (non-fragilis group)	5502	<i>Bacteroides ovatus</i>
	5506	<i>Bacteroides uniformis</i>
<i>Prevotella</i> / <i>Porphyromonas</i> spp.	5550	<i>Prevotella</i> spp.
	5551	<i>Prevotella melaninogenica</i>
	5552	<i>Prevotella oralis</i>
	5553	<i>Prevotella ruminicola</i> subsp. <i>ruminicola</i>
	5554	<i>Prevotella bivia</i>
	5555	<i>Prevotella buccae</i>
	5556	<i>Prevotella denticola</i>
	5557	<i>Prevotella loescheii</i>
	5558	<i>Prevotella intermedia</i>
	5559	<i>Prevotella corporis</i>
	5600	<i>Porphyromonas</i> spp.
	5601	<i>Porphyromonas asaccharolytica</i>
	5602	<i>Porphyromonas gingivalis</i>
<i>Fusobacterium</i> sp.	5650	<i>Fusobacterium</i> spp.
	5651	<i>Fusobacterium nucleatum</i> subsp. <i>nucleatum</i>
	5652	<i>Fusobacterium varium</i>
	5653	<i>Fusobacterium necrophorum</i> subsp. <i>necrophorum</i>
	5654	<i>Fusobacterium mortiferum</i>
<i>Veillonella</i> sp.	5800	<i>Veillonella</i> spp.
	5801	<i>Veillonella parvula</i>
<i>Corynebacterium</i> spp.	6000	<i>Corynebacterium</i> spp.
	6001	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>
	6002	<i>Corynebacterium jeikeium</i>
<i>Bacillus</i> spp.	6100	<i>Bacillus</i> spp.
	6101	<i>Bacillus cereus</i>
	6102	<i>Bacillus subtilis</i> subsp. <i>subtilis</i>
	6103	<i>Bacillus anthracis</i>
<i>Candida</i> spp.	7000	<i>Candida</i> spp.
	7002	<i>Candida tropicalis</i>
	7003	<i>Candida glabrata</i>
	7004	<i>Candida parapsilosis</i>

菌グループ	菌名コード	菌名
	7005	<i>Candida krusei</i>
	7006	<i>Candida guilliermondii</i>
	7007	<i>Candida dubliniensis</i>

3.1.11. 特定の菌グループの対象分離菌数

- 〔解説〕 対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数
- 〔算出方法〕 以下の菌グループが【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】で上位 5 菌種になった場合、【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】を菌名コードごとにも算出する。
- 例）上位 5 菌種に「*Enterococcus faecalis*」があった場合は、【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】で「1202」を報告した分離菌数も算出する。

別途菌名コードごとの分離菌数を算出する菌		
菌グループ	菌名コード	菌名
<i>Enterococcus faecalis</i>	1202	<i>Eterococcus feacalis</i> (VRE)
<i>Enterococcus faecium</i>	1206	<i>Eterococcus feacium</i> (VRE)
<i>Staphylococcus aureus</i>	1303	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)

3.1.12. 緊急と待機

- 〔解説〕 緊急と待機は、1. データフォーマットの【11. 緊急】の設定値によって分別される。
- 〔算出方法〕 ・ 緊急
【11. 緊急】が「1」
- ・ 待機
【11. 緊急】が「0」

3.1.13. 埋入物の有無

- 〔解説〕 埋入物の有無は、1. データフォーマットの【12. 埋入物】の設定値によって分別される。
- 〔算出方法〕 ・ 埋入物有
【12. 埋入物】が「1」
- ・ 埋入物無
【12. 埋入物】が「0」

3.1.14. 人工肛門造設の有無

- 〔解説〕 人工肛門造設の有無は、1. データフォーマットの【14. 人工肛門造設】の設定値によって分別される。
- 〔算出方法〕 ・ 人工肛門造設有
【14. 人工肛門造設】が「1」
- ・ 人工肛門造設無
【14. 人工肛門造設】が「0」

3. 1. 15. 各感染部位

[解説] 各感染部位は、1. データフォーマットの【17. 感染特定部位】の設定値によって分別される。

[算出方法] 【17. 感染特定部位】に対応する各感染部位別に算出。

感染部位	【17. 感染特定部位】	説明
表層切開創	SIP	主要：1 つまたはそれ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>主要な切開創に同定された表層切開創感染。</u> <u>ほとんどの表層切開創感染が SIP に分類される</u>
	SIS	補助的：2 つ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>補助的な切開創に同定された表層切開創感染。</u> （例）手術手技コード CBGB において、グラフト採取部位（手や足など）の創に発生した表層切開層感染
深部切開創	DIP	主要：1 つまたはそれ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>主要な切開創に同定された深部切開創感染。</u> <u>ほとんどの深部切開創感染が DIP に分類される</u>
	DIS	補助的：2 つ以上の切開創による手術を行った患者において、 <u>補助的な切開創に同定された深部切開創感染。</u> （例）手術手技コード CBGB において、グラフト採取部位（手や足など）の創に発生した深部切開層感染
臓器/体腔	BONE	骨髄炎
	BRST	乳房膿瘍または乳腺炎
	CARD	心筋炎または心膜炎
	DISC	椎間板腔の感染
	EAR	耳または乳様突起感染
	EMET	子宮内膜炎
	ENDO	心内膜炎
	EYE	結膜炎以外の眼感染
	GIT	消化管感染
	IAB	他に特定されない腹腔内の感染
	IC	頭蓋内、脳膿瘍または硬膜の感染
	JNT	関節または滑液包感染
	LUNG	その他の下気道感染
	MED	縦隔炎
	MEN	髄膜炎、脳室炎
	ORAL	口腔（口、舌、歯肉）の感染
	OREP	男性または女性生殖器のその他の感染
	OUTI	その他の尿路感染
	SA	脳膜炎を伴わない脊髄膿瘍

感染部位	【17. 感染特定部位】	説明
	SINU	副鼻腔炎
	UR	上気道の感染
	VASC	動脈または静脈の感染
	VCUF	膣断端の感染

3. 1. 16. 人工肛門造設カットオフポイント

- 〔 解説 〕 集計対象医療機関が対象期間に報告した手術時間を元に各手術手技のカットオフポイントを算出する。75 パーセンタイル値の算出方法については別紙（箱髴図）参照。
- 手術件数が 100 件未満の場合、カットオフポイントが算出されない。
- 【2. 2. 12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】は全体と人工肛門造設有、無ごとにカットオフポイントを算出する。また、人工肛門造設無または、人工肛門造設有の手術件数が 100 件に満たない場合でも、全体が 100 件以上であれば、人工肛門造設無、人工肛門造設有それぞれのカットオフポイントは算出される。
- 75 パーセンタイルが小数の場合は、小数第一位を繰り上げ整数にする。
- 〔 算出方法 〕
- ・ 全体の場合

【2. 2. 4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値

ただし、【3. 1. 6 カットオフポイント】と同じなので、内視鏡の全体の【3. 1. 6 カットオフポイント】を使用。
 - ・ 人工肛門造設有の場合

【2. 2. 12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2. 2. 4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【14. 人工肛門造設】が「1」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値
 - ・ 人工肛門造設無の場合

【2. 2. 12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】のみ算出。

【2. 2. 4 集計対象医療機関】の対象期間に報告された 1. データフォーマット【14. 人工肛門造設】が「0」の 1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】の 75 パーセンタイル値
- ただし対象期間と手術手技により「カットオフポイント算出に用いるデータ」の期間が異なる。
- 例 1) 2014 年 1-6 月半期報の場合、【2. 2. 4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20130101」～「20131231」に報告されたデータで算出する。
- 例 2) 2013 年 1-12 月年報の場合、【2. 2. 4 集計対象医療機関】が 1. データフォーマット【3. 手術年月日】に「20130101」～「20131231」に報告されたデータで算出する。

各帳票ごとのカットオフポイント算出に用いるデータは以下の通り（この集計は 2013 年年報からの仕様とする）。

公開・還元情報	カットオフポイント算出に用いるデータ
2013 年 1-12 月年報	2013 年 1-12 月データ（精度管理後のデータを使用）
2014 年 1-6 月半期報	
2014 年 7-12 月半期報	

3. 1. 17. 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス

- [解説] 下記項目の危険度に対し点数を付け、それらの合計をリスクインデックス（RI）とする
- ・ ASA の身体状態分類
 - ・ 創分類
 - ・ 手術手技に対する手術時間
- [算出方法] 下記点数 A～C の合計をリスクインデックスとする

点数 A : ASA の身体状態分類から点数を求める

1. データフォーマット【10. ASA】の値により下記のように分類する

【10. ASA】	説明	点数 A
ASA1	標準的な健康な患者	0
ASA2	軽い全身疾患の患者	
ASA3	重篤な全身症状があるが、活動不能でない患者	1
ASA4	日常生活を営めない、常に生命を脅かされている全身疾患の患者	
ASA5	手術の有無にかかわらず、24 時間生きることが予測できない瀕死の患者	
ASA6	脳死状態	

点数 B : 創分類から点数を求める

1. データフォーマット【9. 創分類】の値により下記のように分類する

【9. 創分類】	創分類名	点数 B
C	清潔創（クラスⅠ）	0
CC	準清潔創（クラスⅡ）	
CO	汚染創（クラスⅢ）	1
D	化膿創（クラスⅣ）	

点数 C : 手術手技に対する手術時間から点数を求める。

1. データフォーマット【7. 手術手技】ごとに算出した【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】を参照し、1. データフォーマット【8. 手術時間(分)】がこれを超えていた場合、点数 C を 1 点とする。

全体の【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】は【3. 1. 6 カットオフポイント】を使用。

【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】ごとにも算出し、それぞれの【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】を使用し点数を求める。

例 1) 2014 年上期報で、【7. 手術手技】が「C0L0」で全体の【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】が「99」の場合、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

例 2) 2014 年下期報で、【7. 手術手技】が「C0L0」で全体の【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】が「98」の場合、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 1

例 3) 【7. 手術手技】が「C0L0」で人工肛門造設有のデータで算出する場合、人工肛門造設有の【3. 1. 16 人工肛門造設カットオフポイント】が「110」のとき、【8. 手術時間(分)】が「99」ならば点数 C は 0

点数 A～C の合計からリスクインデックスを求める

点数 A～C の合計によって「リスクインデックス」の値を決定する

例) 点数 A～C の合計が 3 点の場合、リスクインデックスは[3]

4. 帳票別仕様書

4.1. 公開表 1

[帳票イメージ]

ファイル形式（EXCEL）

シート名「1. 手術手技別手術部位感染の発生率」

各手術手技コードおよび合計の各値を算出する

全ての手術手技コードを表示する（対象期間に提出の無い手術手技コードも表示する）

集計対象医療機関全体値が無い場合、「集計対象医療機関数」、「手術件数合計」は0、「各医療機関の手術件数の分布」以降の列は[-]を表示する。

（データ列・行が多いので、ここでは帳票イメージを分割して表示する）

4.1.1	JANIS SSI部門 公開情報 2012年7月～12月半期報	4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9
-------	---------------------------------	---

4.1.28

4.1.29

各医療機関のSSI発生率の分布（％）					性別SSI件数（件）		内視鏡 SSI件数（件）		緊急と待機 SSI件数（件）		埋入物 SSI件数（件）		感染部位別SSI件数（件）		
10分～25分	25分～50分	50分～75分 （中央値）	75分～90分	90分～100分	男	女	有	無	緊急	待機	有	無	表層切開創	深部切開創	臓器/体腔
0.0	0.0	4.0	9.1	18.2	113	67	56	124	161	19	3	177	116	22	42
0.0	0.0	11.8	21.8	33.4	282	147	34	395	4	425	16	413	140	25	264
0.0	0.0	0.0	12.2	25.0	78	34	18	94	0	112	0	112	51	2	59
0.0	0.0	20.0	50.0	62.5	124	72	6	190	0	196	12	184	55	15	126
0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	80	41	10	111	4	117	4	117	34	8	79
0.0	0.0	1.3	5.4	11.2	120	49	72	97	32	137	1	168	112	14	43
1.1	7.2	12.2	20.5	29.3	760	532	233	1,059	318	974	15	1,277	833	144	315
0.0	0.0	4.8	31.3	49.5	80	10	30	60	4	86	3	87	28	15	47
0.0	0.0	7.1	13.9	19.0	416	117	85	448	41	492	9	524	190	45	298
0.0	0.0	0.0	10.0	18.9	142	45	43	144	2	185	1	186	74	12	101
0.0	0.0	7.7	22.3	33.4	196	44	25	215	8	232	6	234	71	15	154
0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	78	28	17	89	31	75	2	104	45	18	43
0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	18	9	2	25	9	18	16	11	20	7	0
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.0	0.0	12.5	22.3	34.6	380	172	135	417	55	497	15	537	261	65	226
0.0	0.0	11.2	21.5	37.7	141	113	12	242	163	91	7	247	159	29	66
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	2	0	3	1	2	0	3	0	0	3

各医療機関のSSI発生率の分布（％）					性別SSI件数（件）		内視鏡 SSI件数（件）		緊急と待機 SSI件数（件）		埋入物 SSI件数（件）		感染部位別SSI件数（件）		
10分～25分	25分～50分	50分～75分 （中央値）	75分～90分	90分～100分	男	女	有	無	緊急	待機	有	無	表層切開創	深部切開創	臓器/体腔
0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	3	1	0	4	2	2	4	0	1	1	2
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	3.0	9.0	17	11	1	27	1	27	28	0	3	8	17
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	4.8	10.7	22	5	0	27	6	21	20	7	17	6	4
0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	6	0	0	6	0	6	4	2	0	5	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	2	1	0	3	1	2	3	0	2	1	0

PVBY	22	166	1	3	7	11	15	70.8	71.0	122	44	0	166	25	141	125	41	3	1.8
TAA	32	361	2	3	9	15	23	62.3	68.0	221	140	7	354	147	214	332	29	11	3.0
TAE	16	83	1	1	2	6	12	71.1	74.0	62	21	1	82	11	72	81	2	3	3.6
VARX	27	316	1	3	5	14	30	65.0	66.0	131	185	3	313	1	315	11	305	0	0.0

④整形外科系手術

手術手技 コード↑	集計対象 医療機関数	手術件数 合計（件）	各医療機関の手術件数の分布（件）					年齢（歳）		性別（件）		内視鏡（件）		緊急と待機（件）		埋入物（件）		SSI件数 合計 （件）	全体のSSI 発生率* （%）
			10分～25分	25分～25分	50分～25分 （中央値）	75分～25分	90分～25分												
			平均値	中央値	男	女	有	無	緊急	待機	有	無							
AMP	23	84	1	1	2	5	6	62.0	67.0	54	30	1	83	23	61	5	79	0	0.0
FUSN	43	1,401	2	6	16	42	71	64.7	69.0	676	725	3	1,398	46	1,355	1,292	109	31	2.2
FX	47	3,445	9	21	57	93	174	64.6	71.0	1,418	2,027	26	3,419	508	2,937	3,035	410	30	0.9
HPRO	64	1,919	4	11	20	39	70	71.0	73.0	371	1,548	25	1,894	94	1,825	1,840	79	19	1.0
KPRO	62	1,282	3	6	13	27	46	74.4	75.0	215	1,067	5	1,277	8	1,274	1,259	23	15	1.2
LAM	43	1,403	2	6	19	50	89	64.7	68.0	906	497	10	1,393	36	1,367	282	1,121	13	0.9
RFUSN	8	10	1	1	1	2	2	60.3	65.5	7	3	0	10	1	9	9	1	0	0.0

⑤一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術

手術手技 コード↑	集計対象 医療機関数	手術件数 合計（件）	各医療機関の手術件数の分布（件）					年齢（歳）		性別（件）		内視鏡（件）		緊急と待機（件）		埋入物（件）		SSI件数 合計 （件）	全体のSSI 発生率* （%）
			10分～25分	25分～25分	50分～25分 （中央値）	75分～25分	90分～25分												
			平均値	中央値	男	女	有	無	緊急	待機	有	無							
BRST	72	1,696	3	6	15	32	42	59.9	61.0	22	1,674	14	1,682	8	1,688	37	1,659	35	2.1
THOR	61	1,553	1	3	15	38	63	59.0	65.0	1,037	516	817	736	78	1,475	123	1,430	20	1.3
THYR	37	246	1	2	4	7	16	57.0	58.5	66	180	5	241	1	245	2	244	2	0.8
XLAP	117	1,040	1	3	7	12	19	64.0	68.0	625	415	192	848	408	632	39	1,001	72	6.9
CRAN	27	1,109	6	12	31	49	109	61.2	64.0	566	543	48	1,061	418	691	729	380	18	1.6
VSHN	24	164	1	3	4	10	16	63.0	69.0	69	95	4	160	19	145	143	21	2	1.2
CSEC	20	1,160	3	28	38	69	125	33.0	33.0	1	1,159	3	1,157	424	736	5	1,155	8	0.7
HYST	31	816	1	11	23	36	57	50.4	47.0	0	816	60	756	15	801	13	803	16	2.0
OVRV	24	494	1	2	15	36	50	42.6	39.0	0	494	188	306	67	427	2	492	7	1.4
VHVS	14	149	1	2	6	17	26	51.3	48.0	0	149	43	106	0	149	2	147	2	1.3
KTP	7	39	2	2	4	8	11	48.1	51.0	23	16	1	38	2	37	0	39	0	0.0
NEPH	32	343	1	3	7	14	26	63.9	66.0	225	118	206	137	4	339	3	340	3	0.9
PRST	28	324	2	3	7	17	27	68.3	69.0	322	2	145	179	0	324	6	318	6	1.9
NECK	16	65	1	1	2	3	9	60.4	65.0	33	32	1	64	4	61	3	62	0	0.0

*全体のSSI発生率 = (集計対象医療機関のSSI件数合計) ÷ (集計対象医療機関の手術件数合計) × 100

↑手術手技コードに関しては巻末資料参照

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

データ集計日： 2014年08月11日

公開情報掲載日 2014年08月11日

[帳票書式]

ヘッダー・帳票タイトル

フォント：Meiryo UI

サイズ：20 pt

文字色：黒

表タイトル

フォント：Meiryo UI

サイズ：14 pt

文字色：黒

項目名・各値

フォント：Meiryo UI

サイズ：10 pt (各医療
機関の SSI 発生率の分
布 (%) 50 パーセントルの
項目名のみ 9 pt)

文字色：黒

脚注

フォント：Meiryo UI

サイズ：12 pt

文字色：黒

フッター

フォント：Meiryo UI

サイズ：12 pt

文字色：黒

[算出方法について]

4.1.1. 対象期間

- [解説] 対象期間の範囲
 [算出方法] 【2.2.2 対象期間】の開始日と終了日

4.1.2. 全手術手技合計 集計対象医療機関数

- [解説] 集計対象医療機関データの集計の対象となった医療機関の件数
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の件数

4.1.3. 全手術手技合計 手術件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術件数合計
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.2 手術件数】

4.1.4. 全手術手技合計 各医療機関の手術件数の分布

- [解説] 各医療機関の対象期間に報告された手術件数の分布
 小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。
 [算出方法] 【2.2.5 各医療機関】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.7 各パーセンタイル】ごとに算出した手術件数

4.1.5. 全手術手技合計 年齢 平均値

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された年齢の平均値
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の1. データフォーマット【5. 年齢】の合計 ÷ 【4.1.3 全手術手技合計 手術件数合計】

4.1.6. 全手術手技合計 年齢 中央値

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された年齢の中央値（50 パーセンタイル値）
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の1. データフォーマット【5. 年齢】を【3.1.7 各パーセンタイル】の50 パーセンタイルで算出した年齢

4.1.7. 全手術手技合計 性別ごとの手術件数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の性別ごとの手術件数
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.8 各性別】ごとに算出する。

4.1.8. 全手術手技合計 SSI 件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の SSI 発生件数
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.1 SSI 件数】

4.1.9. 全手術手技合計 全体の SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の SSI 発生率（%）
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.3 SSI 発生率】

4.1.10. 手術手技コード

- [解説] 対象となる手術手技コード。手術手技を分類ごとに表示
- [算出方法] 【2.2.6 手術手技】を参照

4.1.11. 集計対象医療機関数

- [解説] 対象期間に報告した手術手技ごとの医療機関の数
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.6 手術手技】の【2.2.3 医療機関】の件数

4.1.12. 手術件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における手術件数
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】

4.1.13. 各医療機関の手術件数の分布

- [解説] 各医療機関の対象期間に報告された各手術手技における手術件数の分布
小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。
- [算出方法] 【2.2.5 各医療機関】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.7 各パーセンタイル】ごとに算出した手術件数

4.1.14. 年齢 平均値

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された各手術手技における年齢の平均値
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.6 手術手技】の1. データフォーマット【5. 年齢】の合計÷【4.1.12 手術件数合計】

4.1.15. 年齢 中央値

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された各手術手技における年齢の中央値（50 パーセンタイル値）
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.6 手術手技】の1. データフォーマット【5. 年齢】を【3.1.7 各パーセンタイル】の50 パーセンタイルで算出した年齢

4.1.16. 性別ごとの手術件数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における性別ごとの手術件数
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.8 各性別】ごとに算出する。

4.1.17. 内視鏡有無ごとの手術件数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における内視鏡有無ごとの手術件数
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】を【3.1.9 内視鏡の有無】ごとに算出する。

4. 1. 18. 緊急、待機の手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における緊急または待機の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 2 手術件数】を【3. 1. 12 緊急と待機】別に算出する。

4. 1. 19. 埋入物の有無ごとの手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における埋入物の有無ごとの手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 2 手術件数】を【3. 1. 13 埋入物の有無】ごとに算出する。

4. 1. 20. SSI 件数合計

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 1 SSI 件数】

4. 1. 21. 全体の SSI 発生率

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における SSI 発生率（％）
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 3 SSI 発生率】

4. 1. 22. 各医療機関の SSI 発生率の分布

- 〔 解説 〕 各医療機関の対象期間に報告された各手術手技における SSI 発生率（％）の分布
小数第二位を繰り上げ、小数第一位表記とする。
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 5 各医療機関】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 3 SSI 発生率】を【3. 1. 7 各パーセントایل】ごとに算出した SSI 発生率

4. 1. 23. 性別 SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における性別ごとの SSI 件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 1 SSI 件数】を【3. 1. 8 各性別】ごとに算出する。

4. 1. 24. 内視鏡有無ごとの SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における内視鏡有無ごとの SSI 件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 1 SSI 件数】を【3. 1. 9 内視鏡の有無】ごとに算出する。

4. 1. 25. 緊急と待機の SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における緊急または待機の SSI 件数

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】を【3.1.12 緊急と待機】別に算出する。

4.1.26. 埋入物の有無ごとの SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における埋入物の有無ごとの SSI 件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】を【3.1.13 埋入物の有無】ごとに算出する。

4.1.27. 感染部位別 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における各感染部位別の SSI 件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】を【3.1.15 各感染部位】別に算出する。

4.1.28. データ集計日

- 〔解説〕 集計対象医療機関の集計日
- 〔算出方法〕 【2.2.10 データ集計日】を参照

4.1.29. 公開情報掲載日

- 〔解説〕 公開情報の掲載日
- 〔算出方法〕 【2.2.11 公開情報掲載日】を参照

4.2. 公開表 2

[帳票イメージ]

ファイル形式（EXCEL）

シート名「2. 手術手技別リスクインデックス別手術部位感染の発生率」

手術手技コード毎に各値を算出する

手術手技コードは全ての手術手技コードを表示する（対象期間に提出の無い手術手技コードも表示する）

人工肛門造設有無ごとに算出する手術手技は【2. 2. 12 人工肛門造設の造設有無ごとに算出する手術手技】を参照。

集計対象医療機関全体値が無い場合、「手術件数合計」は 0、「RI-0 手術件数」以降の列は[-]を表示する。

また、カットオフポイントが無い手術手技は「RI-0 手術件数」以降の列は[-]を表示する。

リスクインデックスごとに算出した手術件数が 0 件の場合、該当の「手術件数」は 0 を表示し、「SSI 件数」、「SSI 発生率」は[-]を表示する。

（データ行が多いので、ここでは帳票イメージを分割して表示する）

JANIS SSI部門 公開情報 2012年7月～12月半期報

2. 手術手技別リスクインデックス*別手術部位感染の発生率
(対象期間 2012年7月1日～2012年12月31日)

①消化器外科系手術

4. 2. 1

手術手技 コード	内視鏡*	手術件数 合計 (件)	RI-0			RI-1			RI-2			RI-3		
			手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)
PPV	合計	2,224	1,289	179	13.9	740	170	23.0	186	62	33.3	9	6	66.7
	無	1,834	932	15	1.6	612	56	9.2	139	41	15.8	31	12	38.7
	有	1,256	712	21	2.0	409	23	5.6	131	12	9.2	4	0	0.0
	合計	2,687	1,614	187	11.6	922	200	21.7	148	42	28.4	3	0	0.0
BILI-L	合計	1,224	746	43	3.5	407	54	13.3	71	15	21.1	0	-	-
	無	676	411	101	14.9	236	86	36.4	27	9	33.3	2	0	0.0
	有	257	456	62	13.6	283	49	17.3	48	10	20.8	0	-	-
	合計	4,789	2,910	33	1.8	1,466	78	5.3	371	34	9.2	22	4	18.2
BILI-R	合計	1,280	829	24	5.4	496	44	8.9	128	16	12.5	7	3	42.9
	無	3,509	2,311	30	1.3	975	30	3.1	268	11	5.3	15	1	6.7
	有	9,226	5,089	849	10.8	3,266	529	15.9	757	193	25.5	54	21	38.9
	合計	6,207	3,136	388	12.4	2,398	446	18.6	886	197	28.7	77	28	36.4
ST-C	合計	2,929	1,959	139	7.1	860	78	9.1	99	16	16.2	1	0	0.0
	無	492	353	30	14.2	116	35	30.2	21	3	14.3	2	2	100.0
	有	300	211	34	16.1	77	24	31.2	11	1	9.1	1	1	100.0
	合計	1,095	138	14	10.1	43	11	25.5	10	2	20.0	1	1	100.0
ST-T	合計	5,891	3,637	246	6.8	2,021	243	12.0	42	18	42.9	8	2	25.0
	無	4,332	2,577	157	7.3	1,525	215	14.1	221	43	19.5	9	3	33.3
	有	1,559	1,068	45	4.2	496	38	7.7	29	2	6.9	0	-	-
	合計	2,799	1,831	101	5.5	880	76	8.6	87	10	11.5	1	0	0.0
ST-L	合計	1,873	1,182	71	6.0	602	64	10.6	88	9	10.2	1	0	0.0
	無	926	656	23	2.5	253	19	7.5	17	1	5.9	0	-	-
	有	1,710	1,083	128	11.8	561	97	17.3	62	14	22.6	4	1	25.0
	合計	1,520	942	107	11.4	516	94	18.2	57	13	22.8	5	1	20.0
ST-R	合計	190	132	25	12.1	57	9	15.8	1	0	0.0	0	-	-
	無	1,382	733	40	5.5	560	44	7.9	85	21	24.7	4	1	25.0
	有	939	455	29	6.4	404	38	9.4	73	20	27.4	7	2	28.6
	合計	443	278	10	3.6	153	7	4.6	12	0	0.0	0	-	-
ST-C	合計	3,719	2,727	12	0.4	908	13	1.4	80	2	2.5	4	0	0.0
	無	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	2,574	50	1	2.0	2,946	414	14.1	497	105	21.1	81	32	39.5
	合計	2,224	1,289	179	13.9	740	170	23.0	186	62	33.3	9	6	66.7
ST-L	合計	1,350	926	70	7.6	382	57	14.9	41	7	17.1	1	1	100.0
	無	1,640	663	58	8.7	668	108	16.2	266	66	24.8	43	22	51.2
	有	119	66	2	1.0	46	1	2.1	4	0	0.0	1	0	0.0
	合計	93	48	2	4.2	93	1	2.5	4	0	0.0	1	0	0.0
ST-R	合計	26	18	0	0.0	8	0	0.0	0	-	-	0	-	-

手術手技 コード	内視鏡 有/無	手術件数 合計 (件)	RI-0			RI-1			RI-2			RI-3		
			手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)
COLO	合計	9,226	5,089	549	10.8	3,266	529	15.9	757	193	25.5	24	21	38.9
	無	7,723	4,406	479	10.9	2,810	419	14.9	478	93	19.5	29	6	20.7
	有	1,503	515	49	9.5	610	119	19.5	326	103	31.6	52	24	46.2
REC	合計	3,574	50	1	2.0	2,946	414	14.1	497	105	21.1	81	32	39.5
	無	2,300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	1,265	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SB	合計	1,640	663	58	8.7	668	108	16.2	266	66	24.8	43	22	51.2
	無	1,448	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有	996	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②心臓・血管外科系手術

4. 2. 42～
4. 2. 54

4. 2. 55～
4. 2. 67

4. 2. 68～
4. 2. 80

手術手技 コード	内視鏡 +	手術件数 合計 (件)	R1-0			R1-1			R1-2			R1-3		
			手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)
AAA		271	80	0	0.0	142	3	2.1	48	0	0.0	1	1	100.0
AAE		147	70	0	0.0	80	0	0.0	17	0	0.0	0	-	-
AVSD		332	97	0	0.0	195	0	0.0	39	0	0.0	1	0	0.0
CARD		1,080	233	7	3.0	838	12	1.9	204	9	4.4	8	0	0.0
CEA		75	49	0	0.0	25	0	0.0	1	0	0.0	0	-	-
CBGB		589	86	2	2.3	395	21	5.3	107	4	3.7	1	0	0.0
CBGC		111	27	1	3.7	81	4	6.8	23	1	4.3	0	-	-
HTP		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PACE		192	94	2	2.1	76	1	1.3	22	0	0.0	0	-	-
PVBV		166	76	1	1.3	63	1	1.6	27	1	3.7	0	-	-
TAA		361	82	3	3.7	216	6	2.8	61	1	1.6	2	1	50.0
TAE		83	30	0	0.0	38	0	0.0	15	3	20.0	0	-	-
VARX		316	231	0	0.0	80	0	0.0	5	0	0.0	0	-	-

③整形外科系手術														
手術手技 コード	内視鏡 +	手術件数 合計 (件)	R1-0			R1-1			R1-2			R1-3		
			手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)
AMP		84	32	0	0.0	20	0	0.0	26	0	0.0	6	0	0.0
FUSN		1,401	909	16	1.8	447	11	2.5	40	4	10.0	5	0	0.0
FX		3,445	2,141	11	0.5	1,159	15	1.3	139	4	2.9	6	0	0.0
HPRD		1,919	1,237	7	0.6	624	11	1.8	58	1	1.7	0	-	-
KPRO		1,282	860	9	1.0	401	6	1.5	21	0	0.0	0	-	-
LAM		1,403	977	8	0.8	387	4	1.0	38	1	2.6	1	0	0.0
RFUSN		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

④一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術														
手術手技 コード	内視鏡 +	手術件数 合計 (件)	R1-0			R1-1			R1-2			R1-3		
			手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)	手術件数 (件)	SSI件数 (件)	SSI発生率 (%)
BAST		1,696	1,201	18	1.5	474	17	3.6	21	0	0.0	0	-	-
THOR		1,553	1,038	4	0.4	454	11	2.4	60	5	8.3	1	0	0.0
	合計	1,553	1,038	4	0.4	454	11	2.4	60	5	8.3	1	0	0.0
	内視鏡	1,129	725	2	0.2	300	4	1.3	41	2	4.9	0	-	-
	開	424	313	2	0.6	154	7	4.5	19	3	15.8	1	0	0.0
	開	177	118	1	0.8	67	1	1.5	4	0	0.0	0	-	-
	開	1,040	521	16	3.1	393	33	8.4	104	20	19.2	22	3	13.6
	開	1,129	553	5	0.9	479	10	2.1	73	2	2.7	0	-	-
	開	184	92	2	2.2	63	0	0.0	9	0	0.0	0	-	-
	開	1,160	866	5	0.7	286	1	0.3	6	1	16.7	1	0	0.0
	開	816	595	11	1.8	214	4	1.9	7	1	14.3	1	0	0.0
	開	756	580	7	1.2	169	4	2.4	7	1	14.3	1	0	0.0
	開	80	25	2	8.0	36	2	5.6	1	0	0.0	0	-	-
	開	494	337	6	1.8	151	1	0.7	6	0	0.0	0	-	-
	開	308	225	3	1.3	78	1	1.3	3	0	0.0	0	-	-
	開	188	110	2	1.8	77	1	1.3	1	0	0.0	0	-	-
	開	140	95	0	0.0	54	2	3.7	0	-	-	0	-	-
	開	106	80	0	0.0	26	0	0.0	0	-	-	0	-	-
	開	43	4	0	0.0	39	2	5.1	0	-	-	0	-	-
	開	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	開	343	227	1	0.4	111	2	1.8	5	0	0.0	0	-	-
	開	137	81	1	1.2	32	2	6.3	4	0	0.0	0	-	-
	開	206	143	0	0.0	58	0	0.0	3	0	0.0	0	-	-
	開	324	238	5	2.1	84	1	1.2	2	0	0.0	0	-	-
	開	172	138	4	2.9	40	0	0.0	1	0	0.0	0	-	-
	開	1,425	1,056	2	0.2	414	5	1.2	5	0	0.0	0	-	-
	開	65	35	0	0.0	34	0	0.0	5	0	0.0	1	0	0.0

※リスクインデックスに該当しない手術手技は、リスクインデックスのSSI発生率は算出されない。
 なお、手術時間カテゴリーが確定していない手術手技では、リスクインデックスのSSI発生率は算出されない。
 ※注：本表は、JANIS2008年～2013年の期間で内視鏡を使用した手術が該当手術手技件数の20%以上であった手術手技
 5以下を除外。
 ALD, EOP, GAST-D, GAST-T, GAST-S, REC, SPLE, THOR, HYST, OVRY, VHYS, NEPH, PRST

※医療機関の数を集めたデータではありません。

データ集計日：2014年08月11日
 公開情報掲載日：2014年08月11日

[帳票書式]

[illegible]

[算出方法について]

4.2.1. 対象期間

- [解説] 対象期間の範囲
[算出方法] 【2.2.2 対象期間】の開始日と終了日

4.2.2. 手術手技コード

- [解説] 対象となる手術手技コード。手術手技を分類ごとに表示
[算出方法] 【2.2.6 手術手技】を参照。内視鏡有無ごとに算出する手術手技は【2.2.8 内視鏡の使用有無ごとに算出する手術手技】を参照

4.2.3. 合計 手術件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの手術件数
[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】

4.2.4. 合計 RI-0 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である手術件数
[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

4.2.5. 合計 RI-0 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生件数
[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.6. 合計 RI-0 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生率(%)
[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.7. 合計 RI-1 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である手術件数
[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

4.2.8. 合計 RI-1 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である SSI 発生件数

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.9. 合計 RI-1 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.10. 合計 RI-2 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.2.11. 合計 RI-2 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.12. 合計 RI-2 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.13. 合計 RI-3 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 3 点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.2.14. 合計 RI-3 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 3 点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.15. 合計 RI-3 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 3 点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

4. 2. 16. 内視鏡無 手術件数合計

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの内視鏡無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で無に分別された【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 17. 内視鏡無 RI-0 手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である内視鏡無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で無に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「0」である【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 18. 内視鏡無 RI-0 SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で無に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「0」である【3. 1. 1 SSI 件数】

4. 2. 19. 内視鏡無 RI-0 SSI 発生率

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である内視鏡無の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で無に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「0」である【3. 1. 3 SSI 発生率】

4. 2. 20. 内視鏡無 RI-1 手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である内視鏡無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で無に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「1」である【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 21. 内視鏡無 RI-1 SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で無に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「1」である【3. 1. 1 SSI 件数】

4. 2. 22. 内視鏡無 RI-1 SSI 発生率

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である内視鏡無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.23. 内視鏡無 RI-2 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である内視鏡無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.2.24. 内視鏡無 RI-2 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.25. 内視鏡無 RI-2 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である内視鏡無の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.26. 内視鏡無 RI-3 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.2.27. 内視鏡無 RI-3 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.28. 内視鏡無 RI-3 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で無に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.29. 内視鏡有 手術件数合計

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの内視鏡有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.2 手術件数】

4.2.30. 内視鏡有 RI-0 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

4.2.31. 内視鏡有 RI-0 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.32. 内視鏡有 RI-0 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.33. 内視鏡有 RI-1 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である内視鏡有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

4.2.34. 内視鏡有 RI-1 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

4. 2. 35. 内視鏡有 RI-1 SSI 発生率

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「1」である【3. 1. 3 SSI 発生率】

4. 2. 36. 内視鏡有 RI-2 手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である内視鏡有の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「2」である【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 37. 内視鏡有 RI-2 SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「2」である【3. 1. 1 SSI 件数】

4. 2. 38. 内視鏡有 RI-2 SSI 発生率

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 2 点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「2」である【3. 1. 3 SSI 発生率】

4. 2. 39. 内視鏡有 RI-3 手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 3 点である内視鏡有の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「3」である【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 40. 内視鏡有 RI-3 SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 3 点である内視鏡有の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 9 内視鏡の有無】で有に分別された【3. 1. 5 リスクインデックス】が「3」である【3. 1. 1 SSI 件数】

4.2.41. 内視鏡有 RI-3 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である内視鏡有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.9 内視鏡の有無】で有に分別された【3.1.5 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.42. 人工肛門造設 合計 手術件数合計

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの手術件数。
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.2 手術件数】

4.2.43. 人工肛門造設 合計 RI-0 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

4.2.44. 人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.45. 人工肛門造設 合計 RI-0 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.46. 人工肛門造設 合計 RI-1 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

4.2.47. 人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.48. 人工肛門造設 合計 RI-1 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.49. 人工肛門造設 合計 RI-2 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.2.50. 人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.51. 人工肛門造設 合計 RI-2 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.52. 人工肛門造設 合計 RI-3 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.2.53. 人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.54. 人工肛門造設 合計 RI-3 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

4. 2. 55. 人工肛門造設無 手術件数合計

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの人工肛門造設無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 56. 人工肛門造設無 RI-0 手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 57. 人工肛門造設無 RI-0 SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3. 1. 1 SSI 件数】

4. 2. 58. 人工肛門造設無 RI-0 SSI 発生率

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 0 点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3. 1. 3 SSI 発生率】

4. 2. 59. 人工肛門造設無 RI-1 手術件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3. 1. 2 手術件数】

4. 2. 60. 人工肛門造設無 RI-1 SSI 件数

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔 算出方法 〕 【2. 2. 4 集計対象医療機関】の【2. 2. 2 対象期間】の【2. 2. 6 手術手技】の【3. 1. 14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3. 1. 17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3. 1. 1 SSI 件数】

4. 2. 61. 人工肛門造設無 RI-1 SSI 発生率

- 〔 解説 〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが 1 点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.62. 人工肛門造設無 RI-2 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.2.63. 人工肛門造設無 RI-2 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.64. 人工肛門造設無 RI-2 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.65. 人工肛門造設無 RI-3 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設無の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.2.66. 人工肛門造設無 RI-3 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設無の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.67. 人工肛門造設無 RI-3 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設無の SSI 発生率(%)

- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で無に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.68. 人工肛門造設有 手術件数合計

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとの人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.2 手術件数】

4.2.69. 人工肛門造設有 RI-0 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

4.2.70. 人工肛門造設有 RI-0 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.71. 人工肛門造設有 RI-0 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが0点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.72. 人工肛門造設有 RI-1 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

4.2.73. 人工肛門造設有 RI-1 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.74. 人工肛門造設有 RI-1 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが1点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.75. 人工肛門造設有 RI-2 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.2.76. 人工肛門造設有 RI-2 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.77. 人工肛門造設有 RI-2 SSI 発生率

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが2点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.78. 人工肛門造設有 RI-3 手術件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設有の手術件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.2.79. 人工肛門造設有 RI-3 SSI 件数

- 〔解説〕 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設有の SSI 発生件数
- 〔算出方法〕 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.80. 人工肛門造設有 RI-3 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の手術手技ごとのリスクインデックスが3点である人工肛門造設有の SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.14 人工肛門造設の有無】で有に分別された【3.1.17 人工肛門造設の有無ごとのリスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.81. データ集計日

- [解説] 集計対象医療機関の集計日
- [算出方法] 【2.2.10 データ集計日】を参照

4.2.82. 公開情報掲載日

- [解説] 公開情報の掲載日
- [算出方法] 【2.2.11 公開情報掲載日】を参照

4.3. 公開表 3

[帳票イメージ]

ファイル形式（EXCEL）

シート名「3. 手術部位感染の原因菌」

各手術手技コードおよび合計、各検体コードの各値を算出する

全ての手術手技コードを表示する（対象期間に提出の無い手術手技コードも表示する）

全ての検体コードを表示する（対象期間に提出の無い検体コードも表示する）

集計対象医療機関の SSI 件数合計が無い場合は、「SSI 件数合計」に 0、「培養検査実施件数合計」以降の列に[-]を表示する。

培養検査実施件数合計が 0 件の場合は「培養検査実施件数合計」に 0、「総分離菌数」以降の列に[-]を表示する。

総分離菌数が 0 件の場合は「総分離菌数」に 0、「原因菌 上位 5 菌種」の菌名と分離菌数に[-]を表示する。

（データ列・行が多いので、ここでは帳票イメージを分割して表示する）

JANIS SSI部門 公開情報 2012年7月～12月半期報										4.3.2	
3. 手術部位感染の原因菌										4.3.3	
(対象期間 2012年7月1日～2012年12月31日)										4.3.4	
①全手術手技合計										4.3.5	
検体別	SSI件数 合計 (件)	培養検査実施件数 合計 (件)	総分離菌数 (株)	1. 菌名	分離菌数	2. 菌名	分離菌数	3. 菌名	分離菌数	4.3.6	
合計	3,913	2,942	1,422	Enterococcus faecalis *	54(5)	Staphylococcus aureus *	20(2)	Pseudomonas aeruginosa	20(1)	Enter	
血液	29	29	21	Staphylococcus epidermidis	5	Candida albicans	2	Acinetobacter spp.	2	Bacte	
血液	11	11	14	Enterococcus faecalis *	2(0)	Staphylococcus epidermidis	1	Enterococcus faecium *	1(0)	Enter	
尿	5	5	4	Staphylococcus aureus *	1(1)	Corynebacterium spp.	1	Bacillus spp.	1	Staphy	
尿	919	919	1,592	Enterococcus faecalis *	204(4)	Escherichia coli	142	Staphylococcus aureus *	134(90)	Pseud	
尿	1,548	1,548	2,237	Enterococcus faecalis *	330(1)	Staphylococcus aureus *	266(150)	Pseudomonas aeruginosa	230	Enter	
手術部位以外の尿	2	2	3	Enterococcus faecalis *	1(0)	Escherichia coli	1	Streptococcus agalactiae	1	Bacte	
下気道 (呼吸器以外)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
下気道	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
下気道	1	1	1	Enterococcus faecalis *	1(0)	-	-	-	-	-	
下気道	1	1	1	Escherichia coli	1	-	-	-	-	-	
その他	30	30	49	Staphylococcus aureus *	7(2)	Escherichia coli	7	Enterococcus faecalis *	5(0)	Bacte	
* Enterococcus faecalis 分離菌数のうち、菌名コード1202 Enterococcus faecalis (VRE)と報告された件数は37件 * Staphylococcus aureus 分離菌数のうち、菌名コード1303 Staphylococcus aureus (MRSA)と報告された件数は37件 * Enterococcus faecium 分離菌数のうち、菌名コード1206 Enterococcus faecium (VRE)と報告された件数は37件											
②外科系手術											
手術手技 コード	SSI件数 合計 (件)	培養検査実施件数 合計 (件)	総分離菌数 (株)	1. 菌名	分離菌数	2. 菌名	分離菌数	3. 菌名	分離菌数		
計	180	94	143	Pseudomonas aeruginosa	26	Bacteroides fragilis group	24	Escherichia coli	19	Staphy	
計	429	332	490	Enterococcus faecalis *	76(2)	Enterobacter cloacae	48	Staphylococcus aureus *	46(30)	Staphy	
計	112	86	110	Staphylococcus aureus *	20(12)	Enterococcus faecalis *	16(1)	Staphylococcus epidermidis	10	Enter	
計	196	160	268	Enterococcus faecalis *	43(1)	Enterobacter cloacae	31	Klebsiella pneumoniae	19	Staphy	
計	121	86	112	Enterococcus faecalis *	17(0)	Staphylococcus epidermidis	11	Enterobacter cloacae	9	Staphy	
計	169	104	143	Enterococcus faecalis *	26(0)	Staphylococcus aureus *	17(10)	Escherichia coli	12	Enter	
計	1,292	819	1,327	Enterococcus faecalis *	16(1)	Bacteroides fragilis group	161	Pseudomonas aeruginosa	139	Enter	
計	90	59	87	Staphylococcus aureus *	14(9)	Enterococcus faecalis *	10(0)	Streptococcus spp.	7	Pseud	
計	533	326	482	Staphylococcus aureus *	65(39)	Streptococcus spp.	40	Enterobacter cloacae	40	Enter	
計	18	108	148	Staphylococcus aureus *	18(12)	Pseudomonas aeruginosa	18	Streptococcus spp.	13	Enter	
計	140	148	227	Staphylococcus aureus *	28(15)	Streptococcus spp.	21	Enterobacter cloacae	20	Pseud	
計	106	70	107	Staphylococcus aureus *	19(12)	Enterococcus faecalis *	12(1)	Candida albicans	9	Enter	
計	27	18	20	Staphylococcus aureus *	11(7)	Pseudomonas aeruginosa	2	Enterococcus faecalis *	1(0)	Enter	
計	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	552	358	624	Enterococcus faecalis *	103(0)	Pseudomonas aeruginosa	70	Bacteroides fragilis group	53	Enter	
計	254	175	257	Enterobacter cloacae	45(0)	Enterobacter cloacae	42	Pseudomonas aeruginosa	22	Enter	
計	3	3	3	Staphylococcus aureus *	1(1)	Enterobacter spp.	1	Candida spp.	1	Enter	
* Enterococcus faecalis 分離菌数のうち、菌名コード1202 Enterococcus faecalis (VRE)と報告された件数は37件 * Staphylococcus aureus 分離菌数のうち、菌名コード1303 Staphylococcus aureus (MRSA)と報告された件数は37件											

③心臓、血管外科系手術

手術手続 コード	SSI件数 合計（件）	増設検査実施件数 合計（件）	総分離菌数（株）	原因菌 上位5菌種（株）					
				1. 菌名	分離菌数	2. 菌名	分離菌数	3. 菌名	分離菌数
AAA	4	3	4	<i>Enterococcus faecalis</i> *	2(0)	<i>Escherichia coli</i>	1	<i>Morganella morganii</i>	1
ASB	0	-	-	-	-	-	-	-	-
AVSD	0	-	-	-	-	-	-	-	-
CARD	28	22	23	<i>Staphylococcus aureus</i> *	13(10)	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	4	<i>Corynebacterium</i> spp.	2
CEA	0	-	-	-	-	-	-	-	-
CBGB	27	25	25	<i>Staphylococcus aureus</i> *	8(3)	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	8	<i>Staphylococcus coagulase negative (CNS)</i>	2
CBGC	6	4	4	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	3	<i>Staphylococcus aureus</i> *	1(0)	-	-
HTP	0	-	-	-	-	-	-	-	-
PACE	3	3	3	<i>Staphylococcus aureus</i> *	3(1)	-	-	-	-
PVBY	3	3	3	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	1	-	-
TAA	11	10	9	<i>Staphylococcus aureus</i> *	4(3)	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	3	<i>Corynebacterium</i> spp.	1
TAE	3	2	2	<i>Enterococcus faecalis</i> *	1(0)	<i>Staphylococcus coagulase negative (CNS)</i>	1	-	-
VARX	0	-	-	-	-	-	-	-	-

*Enterococcus faecalis 分離菌数の5%。菌名コード K1202 Enterococcus faecalis (VRE) と報告された件数はカッコ内

*Staphylococcus aureus 分離菌数の5%。菌名コード K1303 Staphylococcus aureus (MRSA) と報告された件数はカッコ内

④整形外科系手術

手術手続 コード	SSI件数 合計（件）	増設検査実施件数 合計（件）	総分離菌数（株）	原因菌 上位5菌種（株）					
				1. 菌名	分離菌数	2. 菌名	分離菌数	3. 菌名	分離菌数
AMP	0	-	-	-	-	-	-	-	-
FUSN	31	28	28	<i>Staphylococcus aureus</i> *	12(4)	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	6	<i>Enterococcus faecalis</i> *	3(0)
FX	30	20	18	<i>Staphylococcus aureus</i> *	13(4)	<i>Escherichia coli</i>	1	<i>Morganella morganii</i>	1
HPRD	19	16	17	<i>Staphylococcus aureus</i> *	8(3)	<i>Enterobacter cloacae</i>	2	<i>Acinetobacter</i> spp.	1
KPRO	15	12	7	<i>Staphylococcus aureus</i> *	5(3)	<i>Corynebacterium</i> spp.	1	<i>Bacillus</i> spp.	1
LAM	13	12	11	<i>Staphylococcus aureus</i> *	6(2)	<i>Acinetobacter</i> spp.	1	<i>Gram-positive anaerobic cocci</i>	1
RFUSN	0	-	-	-	-	-	-	-	-

*Enterococcus faecalis 分離菌数の5%。菌名コード K1202 Enterococcus faecalis (VRE) と報告された件数はカッコ内

*Staphylococcus aureus 分離菌数の5%。菌名コード K1303 Staphylococcus aureus (MRSA) と報告された件数はカッコ内

⑤一般外科、脳外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科系手術

手術手続 コード	SSI件数 合計（件）	増設検査実施件数 合計（件）	総分離菌数（株）	原因菌 上位5菌種（株）					
				1. 菌名	分離菌数	2. 菌名	分離菌数	3. 菌名	分離菌数
BRST	35	15	9	<i>Staphylococcus aureus</i> *	8(3)	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	1	<i>Enterobacter cloacae</i>	2
THOR	20	15	15	<i>Staphylococcus aureus</i> *	6(3)	<i>Enterococcus faecalis</i> *	2(0)	-	-
THYR	2	1	0	-	-	-	-	-	-
XLAP	72	51	86	<i>Staphylococcus aureus</i> *	10(6)	<i>Enterococcus faecalis</i> *	9(1)	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	9
CRAN	18	14	16	<i>Staphylococcus aureus</i> *	5(4)	<i>Serratia</i> spp.	2	<i>Enterobacter</i> spp.	2
VSHN	2	2	1	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	1	-	-	-	-
CSEC	8	6	10	<i>Staphylococcus aureus</i> *	4(1)	<i>Enterococcus faecalis</i> *	1(0)	<i>Prevotella/ Porphyromonas</i> spp.	1
HYST	16	6	10	<i>Escherichia coli</i>	4	<i>Enterococcus faecalis</i> *	2(0)	<i>Staphylococcus aureus</i> *	1(1)
OVRY	2	3	3	<i>Staphylococcus aureus</i> *	1(0)	<i>Staphylococcus coagulase negative (CNS)</i>	1	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	1
VHVS	2	1	1	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	1	-	-	-	-
KTP	0	-	-	-	-	-	-	-	-
NEPH	3	2	1	<i>Staphylococcus coagulase negative (CNS)</i>	1	-	-	-	-
PRST	6	3	3	<i>Staphylococcus aureus</i> *	2(1)	<i>Enterococcus faecalis</i> *	1(0)	-	-
NECK	0	-	-	-	-	-	-	-	-

*Enterococcus faecalis 分離菌数の5%。菌名コード K1202 Enterococcus faecalis (VRE) と報告された件数はカッコ内

*Staphylococcus aureus 分離菌数の5%。菌名コード K1303 Staphylococcus aureus (MRSA) と報告された件数はカッコ内

*Enterococcus faecium 分離菌数の5%。菌名コード K1206 Enterococcus faecium (VRE) と報告された件数はカッコ内

本公表データは国内の全医療機関の数値を集計したデータではありません。

<i>erium</i> spp.	2	<i>Enterobacter cloacae</i>	2	<i>Staphylococcus</i> sp.	1	以下、菌数1で同数。[<i>Pseudomonas aeruginosa</i>]
<i>ulase negative (CNS)</i>	2	<i>Corynebacterium</i> spp.	2	<i>Escherichia coli</i>	1	以下、菌数1で同数。[<i>Acinetobacter</i> spp.][<i>Enterobacter cloacae</i>][<i>Klebsiella oxytoca</i>][<i>Candida albicans</i>]
	-	-	-	-	-	
<i>erium</i> spp.	1	<i>Enterobacter cloacae</i>	1	-	-	
	-	-	-	-	-	

上位5菌種（株）					
菌名	分離菌数	4. 菌名	分離菌数	5. 菌名	分離菌数
<i>s faecalis</i> *	3(0)	<i>Staphylococcus coagulase negative (CNS)</i>	2	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	2
<i>morganii</i>	1	<i>Staphylococcus coagulase negative (CNS)</i>	1	<i>Enterobacter cloacae</i>	1
<i>cter</i> spp.	1	<i>Morganella morganii</i>	1	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1
<i>i</i> spp.	1	-	-	-	-
<i>naerobic cocci</i>	1	<i>Staphylococcus</i> sp.	1	<i>Enterobacter cloacae</i>	1
	-	-	-	-	-

上位5菌種（株）					
菌名	分離菌数	4. 菌名	分離菌数	5. 菌名	分離菌数
<i>er cloacae</i>	2	<i>Enterococcus faecium</i> *	1(0)	<i>Acinetobacter</i> spp.	1
<i>aeruginosa</i>	9	<i>Escherichia coli</i>	8	<i>Enterobacter cloacae</i>	8
<i>cter</i> spp.	2	<i>Staphylococcus epidermidis</i>	2	<i>Staphylococcus coagulase negative (CNS)</i>	1
<i>yrmonas</i> spp.	1	<i>Corynebacterium</i> spp.	1	<i>Gardnerella vaginalis</i>	1
<i>us aureus</i> *	1(1)	<i>Streptococcus</i> spp.	1	<i>Streptococcus agalactiae</i>	1
<i>aeruginosa</i>	1	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

データ集計日：2014年08月11日
公開情報掲載日：2014年08月11日

4. 3. 19

4. 3. 20

[帳票書式]

ANIS 55 第1期 公開情報 2012年7月～12月半事務									
事務所地位関係の承認書 付新発局 2012年7月1日～2012年12月31日									
表タイトル フォント：Meiryo UI サイズ：20 pt 文字色：黒									
ヘッダー・帳票タイトル フォント：Meiryo UI サイズ：20 pt 文字色：黒									
項目名・各値・注釈 フォント：Meiryo UI サイズ：10 pt 文字色：黒									

作成日：2012年07月16日
更新日：2012年07月16日

脚注

フォント : Meiryo UI
サイズ : 12 pt
文字色 : 黒

フッター

フォント : Meiryo UI
サイズ : 12 pt
文字色 : 黒

[算出方法について]

4.3.1. 対象期間

- [解説] 対象期間の範囲
 [算出方法] 【2.2.2 対象期間】の開始日と終了日

4.3.2. 全手術手技合計 SSI 件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の SSI 発生件数
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.1 SSI 件数】

4.3.3. 全手術手技合計 培養検査施行件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の培養検査実施件数
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の1. データフォーマット【18. 検体】が空白ではない【3.1.1 SSI 件数】

4.3.4. 全手術手技合計 総分離菌数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の、培養検査実施検体の分離菌数の合計（複数分離された場合はそれぞれを集計）
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】の合計

4.3.5. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 菌名

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の菌名
 尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。菌によりイタリック表示される箇所もある。
 [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【3.1.4 対象分離菌数】を【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】ごとに算出し、上位 5 菌種の菌名を求める

4.3.6. 全手術手技合計 原因菌上位 5 菌種 分離菌数

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の各分離菌数
 各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。
 尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。5 位に該当する菌が複数ある場合は、右側に
 ※以下、菌数△で同数。[○○○][○○○][○○○][○○○]
 と表示し、同数の菌名を全て表示する（△には分離菌数、○には菌名が入る）。
 特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合は別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。また表下に
 ※○○○分離菌数のうち、菌名コード 0000 ○○○と報告された件数はカッコ内と表示する（○には菌名、0000 に菌名コードが入る）。
 特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合も別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。

- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の上位 5 菌種の【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】を求める
- 5 位に該当する菌が複数ある場合
- 例) 以下、菌数 2 で同数。[*Candida* spp.][*Staphylococcus*, coagulase negative (CNS)]
- 特定の菌名(グループ)が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合
- 例) 以下、菌数 2 で同数。[*Enterococcus faecium* (1)]
- 特定の菌名(グループ)が上位 5 菌種になった場合
- 例) **Enterococcus faecalis* 分離菌数のうち、菌名コード 1202 *Enterococcus faecalis* (VRE) と報告された件数はカッコ内
- (括弧)内は【3.1.11 特定の菌グループの対象分離菌数】を参照

4.3.7. 検体コード

- [解説] 対象となる検体コード。
- [算出方法] 【2.2.13 検体】のを参照。コードではなく「表示名」を表示。

4.3.8. 各検体別の SSI 件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各検体における SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.1 SSI 件数】

4.3.9. 各検体別の培養検査施行件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各検体における培養検査実施件数
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.1 SSI 件数】

4.3.10. 各検体別の総分離菌数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各検体における、培養検査実施検体の分離菌数の合計（複数分離された場合はそれぞれを集計）
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.4 対象分離菌数】の合計

4.3.11. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 菌名

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各検体における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の菌名
- 尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。菌によりイタリック表示される箇所もある。
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の【3.1.4 対象分離菌数】を【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】ごとに算出し、上位 5 菌種の菌名を求める

4.3.12. 各検体別の原因菌上位 5 菌種 分離菌数

- [解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各検体における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の各分離菌数
各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。
尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。5 位に該当する菌が複数ある場合は、右側に
※以下、菌数△で同数。[○○○][○○○][○○○][○○○]
と表示し、同数の菌名を全て表示する（△には分離菌数、○には菌名が入る）。
特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合は別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。また表下に
※○○○分離菌数のうち、菌名コード 0000 ○○○と報告された件数はカッコ内と表示する（○には菌名、0000 に菌名コードが入る）。
特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合も別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。
- [算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.13 検体】の上位 5 菌種の【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】を求める
5 位に該当する菌が複数ある場合
例）以下、菌数 2 で同数。[*Candida* spp.][*Staphylococcus*, coagulase negative (CNS)]
特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合
例）以下、菌数 2 で同数。[*Enterococcus faecium* (1)]
特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合
例）**Enterococcus faecalis* 分離菌数のうち、菌名コード 1202 *Enterococcus faecalis* (VRE) と報告された件数はカッコ内
（括弧）内は【3.1.11 特定の菌グループの対象分離菌数】を参照

4.3.13. 手術手技コード

- [解説] 対象となる手術手技コード。手術手技を分類ごとに表示
[算出方法] 【2.2.6 手術手技】を参照。

4.3.14. SSI 件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における SSI 発生件数
[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】

4.3.15. 培養検査施行件数合計

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における培養検査実施件数
[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の 1. データフォーマット【18. 検体】が空白ではない【3.1.1 SSI 件数】

4.3.16. 総分離菌数

- [解説] 対象期間に報告された集計対象医療機関の各手術手技における、培養検査実施検体の分離菌数の合計（複数分離された場合はそれぞれを集計）

[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.4 対象分離菌数】の合計

4.3.17. 原因菌上位 5 菌種 菌名

[解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各手術手技における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の菌名
尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。菌によりイタリック表示される箇所もある。

[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の【3.1.4 対象分離菌数】を【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】ごとに算出し、上位 5 菌種の菌名を求める

4.3.18. 原因菌上位 5 菌種 分離菌数

[解説] 集計対象医療機関の対象期間に報告された、各手術手技における培養検査実施検体の分離菌数の上位 5 菌種の各分離菌数
各順位に対象菌が無い箇所は空白を表示。
尚、同数の計上の菌があった場合、菌名コードの昇順で優先する。5 位に該当する菌が複数ある場合は、右側に
※以下、菌数△で同数。[○○○][○○○][○○○][○○○]
と表示し、同数の菌名を全て表示する（△には分離菌数、○には菌名が入る）。
特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合は別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。また表下に
※○○○分離菌数のうち、菌名コード 0000 ○○○と報告された件数はカッコ内と表示する（○には菌名、0000 に菌名コードが入る）。
特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合も別途菌名コードの分離菌数を算出し（括弧）内に表示する。

[算出方法] 【2.2.4 集計対象医療機関】の【2.2.2 対象期間】の【2.2.6 手術手技】の上位 5 菌種の【3.1.10 原因菌ごとの対象分離菌数】を求める
5 位に該当する菌が複数ある場合
例）以下、菌数 2 で同数。[*Candida* spp.][*Staphylococcus*, coagulase negative (CNS)]
特定の菌名（グループ）が 5 位に該当する菌かつ菌名コードの昇順優先で上位 5 菌種にならなかった場合
例）以下、菌数 2 で同数。[*Enterococcus faecium* (1)]
特定の菌名（グループ）が上位 5 菌種になった場合
例）**Enterococcus faecalis* 分離菌数のうち、菌名コード 1202 *Enterococcus faecalis* (VRE) と報告された件数はカッコ内
（括弧）内は【3.1.11 特定の菌グループの対象分離菌数】を参照

4.3.19. データ集計日

[解説] 集計対象医療機関の集計日

[算出方法] 【2.2.10 データ集計日】を参照

4. 3. 20. 公開情報掲載日

〔 解説 〕 公開情報の掲載日

〔 算出方法 〕 【2. 2. 11 公開情報掲載日】を参照

[算出方法について]

4.4.1. コード

- [解説] 手術手技コード。
[算出方法] 【2.2.6 手術手技】を参照

4.4.2. 手術時間カットオフポイント（全体）

- [解説] リスクインデックスを算出する為の各手術手技のカットオフポイント。
 「GAST 合計」は手術手技「GAST-D」「GAST-T」「GAST-O」の合計で 75 パーセンタイルを求める。「BILI 合計」も同様。
 小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。
 カットオフポイントが無い場合、[-]を表示
[算出方法] 【3.1.6 カットオフポイント】の全体をを参照。

4.4.3. 手術時間カットオフポイント（内視鏡有）

- [解説] 内視鏡有のリスクインデックスを算出する為の各手術手技のカットオフポイント。
 「GAST 合計」は手術手技「GAST-D」「GAST-T」「GAST-O」の合計で 75 パーセンタイルを求める。
 小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。
 カットオフポイントが無い場合、[-]を表示
[算出方法] 【3.1.6 カットオフポイント】の内視鏡有を参照。

4.4.4. 手術時間カットオフポイント（内視鏡無）

- [解説] 内視鏡無のリスクインデックスを算出する為の各手術手技のカットオフポイント。
 「GAST 合計」は手術手技「GAST-D」「GAST-T」「GAST-O」の合計で 75 パーセンタイルを求める。
 小数第一位を繰り上げ、整数表記とする。
 カットオフポイントが無い場合、[-]を表示
[算出方法] 【3.1.6 カットオフポイント】の内視鏡無を参照。

4.4.5. カットオフポイント算出に用いるデータの期間

- [解説] カットオフポイント算出のための集計対象期間
[算出方法] 【3.1.6 カットオフポイント】を参照。
 例）【2.2.2 対象期間】は 2012 年 7 月 1 日～12 月 31 日だが、カットオフポイント算出に用いるデータの期間は 2012 年 1 月 1 日～12 月 31 日。